

構成について

本書でワァワァ言ってる『構成』について。

『ワイヤー』と呼ばれているモノとある程度混同して捉えていただいて大丈夫です。というか正直、厳密な違いが分かりませんし気にしてもいいないです。←おい

また、本書では『作りこめたほうが正しい』といった論調で整理し掲載しておりますが、あくまで皆さんのお勤め先の方針とプロジェクトの内容次第で大きく変わるので参考程度にとどめておいていただくと大変ありがたいです。

本書の見方について

本書では**作業者のレベル感にあわせた構成の例**をまとめて、解説しております。

ただ、この『作業者のレベル感』というのはワイの感覚でまとめたものになっているので、皆さんの考えるレベル感との乖離があります。

というか『レベル感』ってなんやねん。って感じですが、とりあえずご承知おきください。

構成

- 駆け出し、初学者レベル
- まだまだ駆け出し、初学者レベル
- 制作会社1年目レベル ※会社によってはこのくらいでだいたいOK。
- 制作会社1、2年目レベル
- 制作会社2、3年目レベル

その他

- クオリティを高くするために意識しているポイント
- 注意点

駆け出し、初学者レベル

ヘッダー

キャッチコピー

リード文を入れるXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

画像	特長の説明 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XX
画像	特長の説明 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XX
画像	特長の説明 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XX

業界最安値
 初期費用0円、月額980円

お申し込みボタン

なんとなく駆け出し、初学者レベルはこんな感じ。
 個人的にはこの程度だったら作る必要性がそもそも薄い。

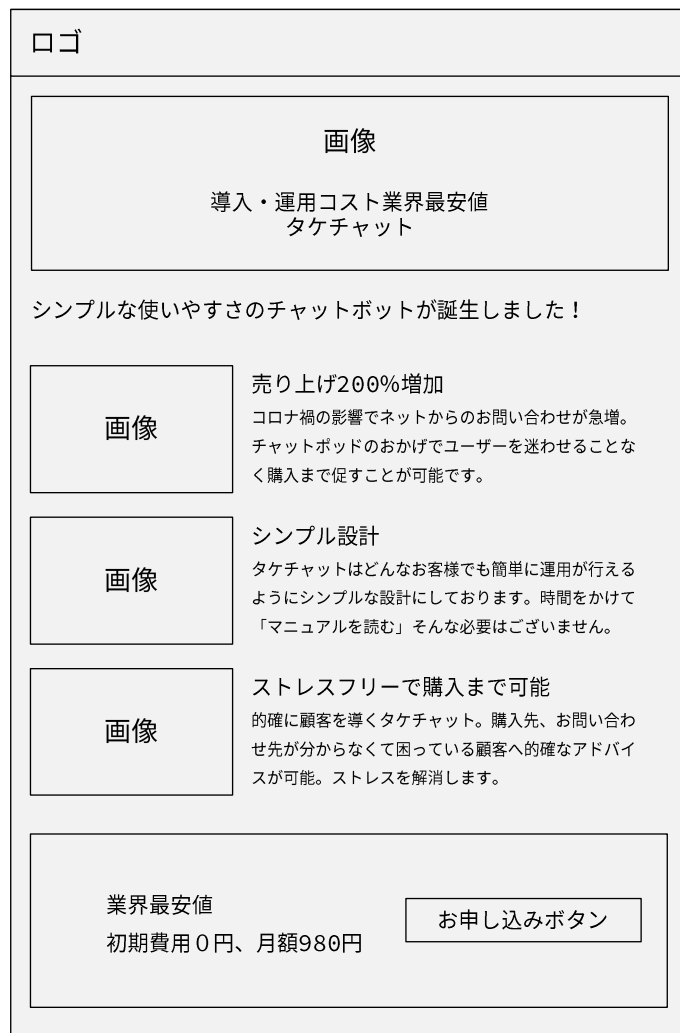
デザイナー・エンジニア側の視点

- ・なんとなくレイアウトはわかる
- ・何をどうしたいのか、これだけだと作成はできない。
 ※KVのイメージは？原稿は？画像って何？情報の強弱は？

クライアント側の視点

- ・なんとなくレイアウトは想像できるけど、これだったら依頼しなくても自分で作れる
 ※変に伝わって認識齟齬が起きる可能性がある

まだまだ駆け出し、初学者レベル



解像度はちょっと上がった。けどまだまだ駆け出し、初学者レベルはこんな感じ。
個人的にはこの程度だったら作る必要性はまだまだ薄い。

デザイナー・エンジニア側の視点

- なんとなくレイアウトはわかる
- まだまだ各要素の内容が不透明だからこれだけだと正直着手したくない

クライアント側の視点

- なんとなくレイアウトは想像できるけど、これだったら依頼しなくても自分で作れる
- ※変に伝わって認識齟齬が起きる可能性がある

制作会社1年目レベル・・・会社によってはこのくらいでOK

解像度はちょっと上がった。けどまだまだ駆け出し、初学者レベルはこんな感じ。
個人的にはこの程度だったら作る必要性はまだまだ薄い。

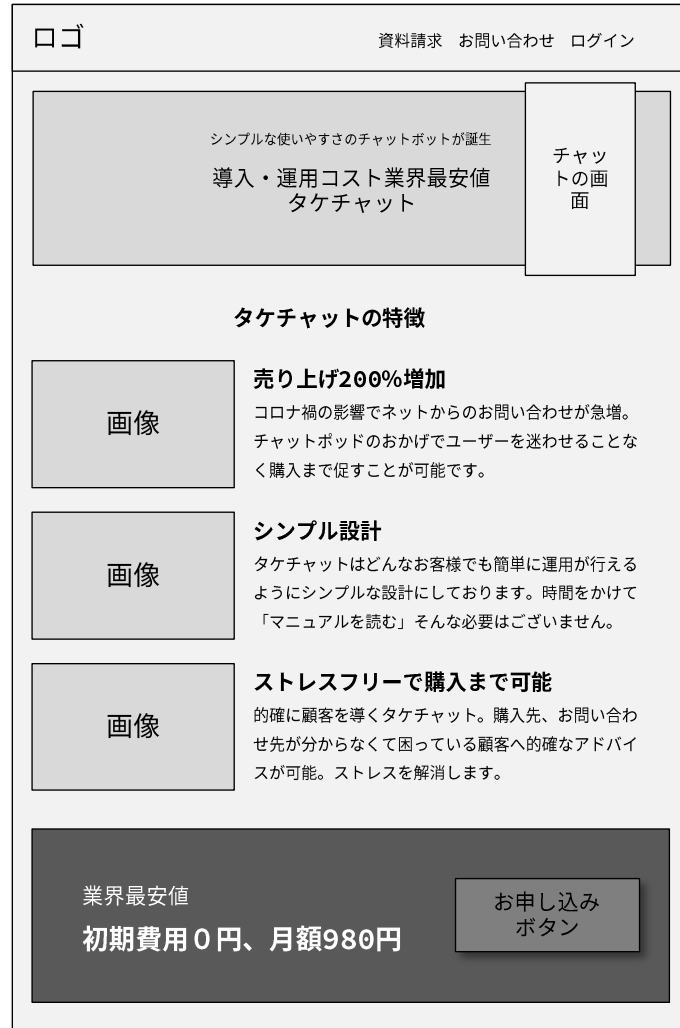
デザイナー・エンジニア側の視点

- ・情報の強弱、レイアウトはわかる
- ・あとは参考サイトとダミーになっている画像があれば着手できる(デザイナー)

このクオリティと参考サイトがあればある程度経験のあるデザイナーであればデザインの着手が可能です。
※エンジニアはもっともっと情報がないと着手できないので要注意

クライアント側の視点

- ・参考サイトも共有してくれたし、なんとなく完成イメージも湧いてきた
- ※参考サイトは渡そう！しっかりトンマナの方向性も決めておくんだぞ！



制作会社1、2年目レベル

Take direction 資料請求 お問い合わせ ログイン

シンプル使いやすいチャットボットが誕生
導入・運用コスト業界最安値
タケチャット

業界最安値

初期費用0円、月額980円

ダミーテキストダミーテキストダミーテキスト
ダミーテキストダミーテキストダミーテキスト
ダミーテキストダミーテキストダミーテキスト

お申し込みボタン

特徴

売上げ200%増加
コロナ禍の影響でネットからのお問い合わせが急増。チャットボットのおかげでユーザーを迅速に購入まで促すことが可能です。

シンプル設計
タケチャットはどんなお客様でも簡単に導入できるようにシンプルなおデザインにしております。「マニュアルを読む」そんな必要はございません。

ストレスフリーで購入まで可能
的確に顧客を導くタケチャット。購入先が分からなくて困っている顧客へのサポートが可能です。ストレスを解消します。

参考サイトを添えるとグッド

レイアウトにこだわりを持ちすぎるとデザイナーの考える領域を狭めてしまうのでやりすぎは要注意。キチンとデザイナーとコミュニケーションを取ってからこだわります。

デザイナー・エンジニア側の視点

- ・情報の強弱、レイアウトはわかる
- ・着手できる(デザイナー)

このクオリティがあれば2年以上やっているデザイナーであれば十分着手可能です
※エンジニアの場合、熟練者じゃないと着手したくないまだレベル

クライアント側の視点

- ・完成イメージが湧く

ユーザー側の視点

- ・なんとなく興味を惹く設計になっている

制作会社2、3年目レベル



今までに業界に無かった価格で訴求するため、興味を惹くコピーにしております。そのため“誕生”をあえて大きく、より今まで無かったような印象をユーザーに与えます

安くても使いづらければ導入したくないはずなので“シンプルな使いやすさ”とコピーを入れております。あえて多くを語らず“シンプル”とだけ記載することでごちゃごちゃせず、スッキリした印象を与えます。また実際のチャット画面のイメージを右側に乗せることで導入後のイメージを膨らませます。

スクロールにあわせて追尾するイメージです。どこの位置からでもお問い合わせに行けるような導線設計はユーザーのストレスを無くし、離脱の防止になるため採用したいと考えております。半透明にするため、掲載している各要素が見づらくなる懸念は解消される想定です。

これくらいまでやると場合によってはやりすぎでデザイナーに怒られます。ただ作れるようになるとクライアントとの認識齟齬を防げたりするので最終的に社内外問わず信頼されるようになります。

デザイナー・エンジニア側の視点

- ・着手できる(デザイナー)
- ・エンジニアも場合によっては着手できる。

※ただし構成通りのデザインがあがってくるなら。



参考サイトを添えるとグッド

各見出し、フォントサイズ、各要素のマージン、マウスオーバーしたときのボタンの挙動、クリックしたときのボタンの挙動など想定される各要素の細かいところまで用意すると完璧に近い状態でデザイナーにデータを共有できます。

ただし、同時にデザインの幅を狭めることになるのでデザイナーとのコミュニケーションが非常に重要になります。

クライアント側の視点

- ・完成イメージは十分湧いてる
- ・提案が含まれているのでデザイン段階で大きな変更が起きない
- ・社内で決済が通しやすい
- ・説得力があるため、また依頼をしたい

ユーザー側の視点

- ・興味を惹く設計になっている
- ・ストレスの少ない設計になっている

クオリティを高くするために意識しているポイント①

より実装する際をイメージして細かいところの調整を意識しています。

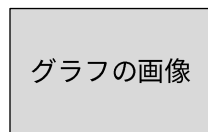
テキストリンクの場合

[マイページへ進む](#) 下線をつけてリンクのイメージを付ける

▶ [マイページへ進む](#) アローをつけてリンクのイメージを付ける

[マイページへ進む](#)  外部リンクへのアイコンをつけてイメージを付ける

画像の場合



画像もダミーを入れるなら実際に探して入れる。

『画像』とか『グラフの画像』で通してしまった場合、実際に入れてみたときにハマらない場合がある

クオリティを高くするために意識しているポイント②

より実装する際をイメージして細かいところの調整を意識しています。

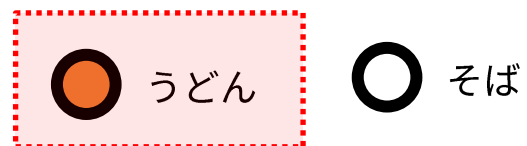
ボタンの場合



マウスをあてたときの挙動もつくる



タブ切り替えは選択中のものとそれ以外が区別つくようにつくる



ラジオボタンは選択中とクリックできるエリアを提議しておく
44px×44pxは最低限担保してボタン同士の間は離す。

クオリティを高くするために意識しているポイント③

より実装する際をイメージして細かいところの調整を意識しています。

グロナビの場合



ドロップダウンメニューで開く要素がある場合、



といった挙動を示唆できるものを入れる。

※UIで“開くもの”と“直接遷移”するものをきっちり分ける。

クオリティを高くするために意識しているポイント④

より実装する際をイメージして細かいところの調整を意識しています。

カレント。現在位置を分かりやすく

製品紹介 ▼	会社概要	お問い合わせ
--------	------	--------

—— 会社概要

ああああああああああああああ

ああああああああああああああ

ああああああああ

いま、開いているページに合わせて

ユーザーが現在位置を把握できるようにカレントを意識する。

クオリティを高くするために意識しているポイント④

より実装する際をイメージして細かいところの調整を意識しています。

見出しの大きさを定義する

マージンも定義する

H1 30px

H2 24px

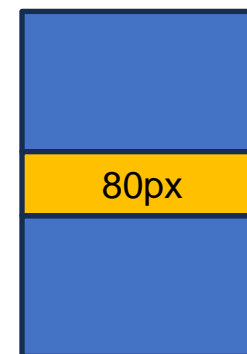
本文 16px

注意分 14px

セクション同士は80px空ける

セクション内の見出しと文章は20px空ける

など



注意点

- 作りこみすぎは注意。デザイナーの邪魔をしない範囲を常に考える。
- 何のために作り込むかを考える。
- アクセシビリティなど特定の要件がある場合はもっと細かく考える場面がある。
- 構成はFigmaなどデザインソフトで作るとより高いクオリティが実現できる。
- アップルのユーザーインターフェースガイドラインなど“良い”とされるものも参考にする。
- 作ったら必ず操作しやすそうか、要件を抑えているか検証してみる。
- あくまで本書は参考にする。